

内閣総理大臣 小泉純一郎 様
文部科学大臣 遠山 敦子 様
原子力委員会委員長 藤家 洋一 様

イーター

ITER(国際熱核融合実験炉)の日本誘致に反対する署名

迫る国内誘致

原子力委員会 ITER計画懇談会は5月初め、ITER(イーター)の国内誘致を支持する報告書を出す予定です。その後、政府としての決定を行い、文部科学省が北海道苫小牧市、青森県六ヶ所村、茨城県那珂町の三つから我が国の誘致地点を選定することになっています。今年の夏には、日本、EU、ロシアの3極が国内誘致の是非を表明し、建設地点を決定する手はずです。

温暖化防止、実用化の目途立たず

ITER計画懇談会報告書(案)は、核融合発電が将来の地球環境問題を解決するものと位置づけ、その日本誘致は有意義だと結論づけています。他方では、核融合の実用化の時期を示すこともできず、5000億円を超える投資は将来の人類への「保険」だと述べています。

たとえ核融合発電に成功しても、地球温暖化対策は50年以上先ではとても間に合いません。最近の研究は、温暖化がハイテンポで進行しすでに地球環境に影響が出ていることを明らかにしています。先進国は今すぐに温室効果ガス排出の厳しい削減にとりかからなければならないのです。もっと意味のある実効性を伴った温暖化防止やエネルギー消費削減に予算を投入すべきです。

避けられない事故と被曝

ITERは燃料に放射性物質トリチウムを使い、プラント内に3kgが存在しています。事故でわずか10g程度のトリチウムが環境に排出されただけでも、数km圏内の住民の被曝線量が「公衆の被曝限度 5ミリシーベルト」を超える恐れがあります。また、放射化ダストの排出がトリチウムと同程度に住民を被曝させる危険もあります。

しかし、「最終設計報告書」は、想定されたITERの事故の被曝は「避難基準 50ミリシーベルト」を下回り「安全には余裕がある」と述べ、被曝の危険性を無視しています。

核融合炉は原子炉とは違ったタイプの予想をはるかに越える事故の危険をもはらんでいます。高速中性子の照射、何億度という高温、強大な磁気エネルギーの抑制や制御が極めて難しく、炉の急激な破壊に結びつく可能性もあります。温度の急上昇による冷却剤ヘリウムの爆発や水素の火災・爆発による施設の破壊も起こりうる危険です。日本では、地震など外的な危険も存在しています。全く手探りの実験段階にあるITERでは何が起こるか分かりません。ひとたび放射能を大量に放出する苛酷事故が起これば、100ミリシーベルトを超える住民の被曝も避けられません。

大量に発生する長寿命の放射性廃棄物

ITERを20年間運転すると4万トンの低レベル放射性廃棄物(クリアランスレベルを除く)ができると見積もられています。これは原発解体時に発生する低レベル廃棄物の数倍にもなり、それは100年間の管理が必要です。そのうち1万トンはさらに長期の管理が必要で、ニオブ94やニッケル59のように半減期が2万年を超える核種も含まれます。誰が廃棄物の半永久的管理に責任を持てるのでしょうか。地元での処理・処分が誘致の条件にされていることが明らかになり、誘致運動を進めてきた自治体に動揺が広がっています。

研究者も反対

ITERに巨額の資金を投じるべきかどうかについても、内外の研究者の中で意見が一致していません。とくに、物理学者から慎重さを求める意見が表明されています。また、1998年に米国はすでにITERから撤退しています。

きわめて危険で多くの問題を抱えるITERに、巨額の資金を投入し推進することに反対し、私たちは次のことを政府に要望します。

北海道・苫東、青森・六ヶ所村、茨城・那珂町を候補地とする

イーター
I T E R (国際熱核融合実験炉) の日本誘致をやめて下さい。

名前	住所	カナ

(呼びかけ責任団体) 地球救出アクション97

(第1次締め切りは6月25日)

署名の連絡先 〒580-0026 大阪府松原市天美我堂4-2-18 稲岡美奈子方 地球救出アクション97
TEL 0723-32-9279 FAX 0723-39-2871

取り扱い団体

この署名用紙は自由にコピーして下さい。表側だけでも結構です。